

- 生活支援 貝守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり



地域の概要



曾於市は平成17年に3町（末吉町、大隅町、財部町）が合併し誕生。

人口：32,110人

世帯数：17,128世帯

高齢化率：43.6%（令和7年2月現在）

少子高齢化、人口減少等は年々進行している。

買物などの移動支援をはじめ、自助や公助では対応が難しい生活課題に対する地域支援の必要性が高まっている。

取組のきっかけ

地域福祉の推進において、自身や制度では対応が難しい生活課題が増える中で、身近な地域での支え合いを醸成することを目的に、顔の見える地域住民の助け合いの関係づくりの促進と「自分たちの住むまちを、自分たちの手で住み続けられるようにしたい！」という住民の思いを形にしようと始まった。

取組の目的

- 自助や公助では対応が難しい生活課題に柔軟に対応することによる切れ目のない支援
- 身近な地域における住民同士のつながりづくりと日常的な助け合いの促進
- 住民の地域福祉活動への参加促進と支え合いの機運を再醸成
- サービスを通じて人と人とのつながりを生み、地域の支え合いを広げる

これまでの経緯

年・月	出来事
平成23年2月	住民参加型の福祉サービスに関わるアンケート調査実施
平成23年7月	第1回住民参加型福祉サービス検討会
平成23年9月	先進地研修
平成23年10月	第2回住民参加型福祉サービス検討会
平成24年2月	ほっとサービスたからべ事業開始
平成25年	大隅地域住民参加型福祉サービス検討会 末吉地域住民参加型福祉サービス検討会
平成25年6月	ほっとサービス大隅、ほっとサービス末吉事業開始
	市内全域に事業を展開
毎年	協力会員連絡会を開催

活動の概要

● 取り組みの概要

お手伝いをお願いしたい人を依頼会員、お手伝いをする人を協力会員として登録する会員登録制の有償サービス。市社協が依頼会員と協力会員をコーディネートし、日常生活上の困りごとに対し、生活支援をはじめ、庭の整備、簡易な修繕など幅広く支援を行う。（相談・会員登録は無料）

【頻度】

依頼会員の依頼に対し、その都度対応

受付日時：月曜日から金曜日まで（祝祭日は除く）9時から17時

サービス実施日時：日曜日から土曜日まで8時から17時

【利用料】

30分まで300円。以降10分を超えるごとに100円を加算

協力会員自家用車使用料20円/km

※協力会員の車に乗って移動することはできない。

例) 病院の付き添いの場合

依頼会員は、病院の送迎やタクシーなどを利用して病院へ行きます。

協力会員は、①依頼会員が乗車するタクシーに同乗する。

②タクシーなどの後を協力会員は車で着いて行く。

③病院で待ち合わせする。

【活動に関わる人・団体等】

地域住民、市社会福祉協議会、市、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所 など

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- サービス周知の協力
- 情報共有

〔SCとしての役割〕

- アンケート調査
- 住民参加による検討会の開催
- 困りごとへの相談支援
- 会員登録と支援調整
- 協力会員人材の発掘と養成
- サービスの周知と協力会員の募集

現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 制度の狭間にある困りごとに柔軟に対応することで、地域生活の安心を支援できている。
- サービスを入口に同じ地域に住む住民同士としてのつながりを生み出し、日常的な関わりを生み出している。
- 活動者として参加する機会を作ることで、地域福祉への理解促進となっている。

〔課題〕

- 生活支援の必要性が高まっている中で、サービスがなかなか浸透しないことに対する周知の強化
- 協力会員の増強による網の目の細かいサービスの展開